

令和元年度 事業報告

事業方針	事業の推進	● 全職員が若杉幼稚園の保育理念や教育目標を十分理解し、達成するためのねらいを共有することに努める。そのうえで、こども園としてのカリキュラムを確立していくために、今までのものを見直し、手直ししていく作業を進める。 ● 前年度の反省を踏まえ、乳児部・保育部という隔たりが生じないようにする。行事等で一緒に活動できるものは、事前の連絡を十分に取りあったうえで取り組む（誕生会・夏祭り等）。同じ場所・時間を共有したことで、お互いを意識しあい、あこがれや思いやりの気持ちをはぐくむことができた。 ● 3歳以上児の園生活を踏まえて、乳児クラスの保育環境を見直し、意見交換しながら定期的に組み替えた。 ● 長期休暇中の預かり保育をクラス担任も分担して担当したことで、園児一人一人の把握がしやすくなり、日々の活動もスムーズに行うことができた。クラス担任も、異年齢児クラスへのかかわりを経験することで、こども理解の幅が広がってきた。
	予算編成の基軸	● 園児総数 3,111 名(幼児部 23 名・年少児 68 名・年中児 76 名・年長 79 名)、教職員 54 名、派遣運転手 1 名で編成した。 ● エアコン取り換えのため市の補助金を受けた。
具体項目		内 容
1	教育計画	● 昨年同様、定期的に教員間で子どもの情報を交換する時間や、担任や補助教諭のクラス交換する機会を持つようにした。また、今年度、「クラス運営について」「一人一人をよりよく理解するために」をテーマに、前期後期にそれぞれ園内研修を行う。個々の状態をチャートで記すことで、一人一人の実像が共有化され、その後の対応について具体的に考えていくことができた。 ● 保育の充実、子どもに寄り添った対応に努めるために、ホワイトボードに1日の予定を記入し、各クラスの保育内容と共に職員の動きを見える化した。状況に応じた補助教諭の配置を今後も継続していきたい。 ● 異年齢児との触れ合いや関わる活動をとおして、思いやりの心を育てていった。
2	研究計画	● 園内研修を実施した。(YY・ケース検討会・担任を交換しての保育) ● 外部講師による全職員研修(コスモ八田先生・荒木先生 ウメハナ松原先生) ● 乳児クラスの保護者支援として親子遊びの会を年3回実施する。日本親子体操協会三船先生 ● 県私幼、市私幼、幼児活動研究会等の研修に参加した。
3	地域連携計画	● 5月と10月に地域のS型デイサービス(丸子常磐町・本町・二軒家)に通所する方々と、年長児が1クラスごと交流会(ふれあいサロン)をした。 ● 5月(端午の節句)にペリデ長田を訪問した。(年長) ● 8月に『宿場まつり』に参加した。 ● 中学生の職場体験活動を受け入れた。(長田西中・長田南中) ● ちびっこの会を年10回開催し、園庭開放・各種催しを通して子育て支援を行う。 ● 長田子育て支援協議会に加入するが、会議等の参加はあまりできなかった。
4	施設設備計画	● 南園舎エアコンを取り換えた。 ● 園庭の防犯カメラを追加整備した。 ● 第3運動場を整備した。 ● 令和元年度卒園児よりカブラの寄付を受けた。
5	管理運営計画	● 全教職員で保育の充実・安全管理に努めた。 ● 研修に励み、一人ひとりの能力の向上に努めた。
6	財務計画	● 短期借入金を返済した。 ● 南園舎エアコン取り替えのため、長期借入金を借り入れた。 ● 第1号基本金、第4号基本金をそれぞれ組み入れた。